

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|---------|--|-------------|---------|-------------------|---------|----------|---------|-----------|---------|
| 1. 科目名(単位数) | 保育原理 (2単位) | 3. 科目番号 | JNGM1103 | | | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 坂本 真理子 | | | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、演習 | 5. 開講学期 | 春期 | | | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | <p>乳幼児期における保育・教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うきわめて重要なものである。そのことを踏まえて本科目では、なぜ重要な意味をもつのかについて、様々な観点から理解できるようにする。</p> <p>保育の意義とその思想、保育の歴史の変遷、子どもの発達特性、保育理論と実践との関連などについて概説し、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を基本的資料として、保育の原理、目的、目標、内容、方法、計画、評価について理解する。さらに、現代的保育二・ズや子育て支援に関する基本を習得する。</p> | | | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の目的、目標、内容、方法を理解し、説明することができる。 2. 保育の歴史の変遷、その思想についての知識を身に付ける。 3. 保育実践の土台となる子ども観、保育観、発達観について理解し、説明することができる。 4. 子ども理解の重要性、個の特性に応じた望ましい援助について習得する。 5. 環境を通して行う保育について理解し、具体的な実践方法を習得する。 6. 保育の現状を知り、現代社会における保育二・ズや子育て支援について理解し、説明することができる。 | | | | | | | | | | |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | <p>レポート 保育における遊びの重要性について授業で学んだことを踏まえまとめる。1000字程度</p> | | | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】佐藤康富編[新版]『新しい保育原理』大学図書出版 【参考書】文部科学省『幼稚園教育要領』 厚生労働省『保育所保育指針』 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』</p> | | | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の目的、目標、内容、方法を理解し、説明することができるか。 2. 保育の歴史の変遷、その思想についての知識を身に付け、説明できるか。 <p>○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験(または期末レポート)</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の10%</td> </tr> <tr> <td>4 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> | | | 1 授業への積極的参加 | 総合点の20% | 2 期末試験(または期末レポート) | 総合点の50% | 3 課題レポート | 総合点の10% | 4 日常の学習状況 | 総合点の20% |
| 1 授業への積極的参加 | 総合点の20% | | | | | | | | | | |
| 2 期末試験(または期末レポート) | 総合点の50% | | | | | | | | | | |
| 3 課題レポート | 総合点の10% | | | | | | | | | | |
| 4 日常の学習状況 | 総合点の20% | | | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>人格形成の基礎となる乳幼児期の子どもに専門家としてかかわる保育者は、子どもに対して多大な影響を及ぼす存在であることをしっかりと自覚して下さい。自分の将来像と関わらせて、授業に真剣に臨んで下さい。</p> | | | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | <p>別途通知します。</p> | | | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション 授業概要、授業計画 | 事前学習 | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領第1章を読んでくる。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | シラバス全体に目を通し授業計画を確認しておく。 | | | | | | | | |
| 第2回 | 保育とは | 事前学習 | 教科書該当箇所を読んでおく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 保育とは何か、子どもを理解するとは何かを学ぶ。 | | | | | | | | |
| 第3回 | 幼児期の発達特徴 | 事前学習 | 発達の定義について調べておく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 発達の過程と特徴について理解する。 | | | | | | | | |
| 第4回 | 子ども観、保育観について | 事前学習 | 子ども観、保育観の意味を調べておく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 自分の子ども観、保育観についてまとめる。 | | | | | | | | |
| 第5回 | 保育の歴史の変遷① | 事前学習 | 諸外国の保育の歴史について調べておく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | フレーベルの思想についてまとめる。 | | | | | | | | |
| 第6回 | 保育の歴史の変遷② | 事前学習 | 日本の保育の歴史について調べておく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 倉橋惣三の思想についてまとめる。 | | | | | | | | |
| 第7回 | 保育における養護と教育 | 事前学習 | 保育とは何か教科書該当箇所を読んでおく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 「養護と教育の一体化」の意味を理解する。 | | | | | | | | |
| 第8回 | 5領域について | 事前学習 | 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の5領域の箇所を読み、「ねらい」と「内容」の関連について考える。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 5領域をふまえたうえで、総合的な指導・援助の意味を理解する。 | | | | | | | | |

| | | | |
|------|---------------------|------|---|
| 第9回 | 遊びの意味と重要性 | 事前学習 | 身近な幼児の遊びを観察し、気づいた点や特徴を文章化する。 |
| | | 事後学習 | 遊びと学びの関係を理解する。 |
| 第10回 | 保育内容・方法について① | 事前学習 | 保育の内容・方法について教科書の該当箇所を読んでおく。 |
| | | 事後学習 | 「保育環境」について理解する。 |
| 第11回 | 保育内容・方法について② | 事前学習 | 保育の内容・方法について教科書該当箇所を読んでおく。 |
| | | 事後学習 | 「自発性」と「指導性」について、理解する。 |
| 第12回 | 保育所と幼稚園の共通する保育のあり方 | 事前学習 | 「幼稚園」と「保育所」の役割について調べておく。 |
| | | 事後学習 | 「保育所」と「幼稚園」の社会的役割の違いと共通する保育のあり方を理解する。 |
| 第13回 | 現代の子どもをとりまく状況と保育の現状 | 事前学習 | 現代の子どもをとりまく状況について考え、気づいた点をまとめる。 |
| | | 事後学習 | 現代の子どもをとりまく状況について整理し、保育者としての課題について自分の考えをまとめる。 |
| 第14回 | 現代の保育ニーズと子育て支援 | 事前学習 | 政府が発表している子育て支援策について調べておく。 |
| | | 事後学習 | 子育て支援策の移り変わりのポイントについて整理する。 |
| 第15回 | 全体の振り返りとまとめ | 事前学習 | 本授業における要点や課題を整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 本授業を通して学んだことを振り返り、各課題に関するポイントをまとめる。 |